

グラフで見る統計あつぎ — 令和3年版 —

令和3年版統計あつぎをもとに、
グラフにして取りまとめました。

この資料の見方

(例)

1 行政区画・土地・気象

■都市計画区域の割合及び地目別土地利用状況(5)

統計あつぎ4頁「5 地目別土地利用状況」を
基に作成しています。



— 目次 —

あつぎの概要

行政区画・土地・気象

- 都市計画区域の割合及び地目別土地利用状況・・・・・・・・・・ 3
- 月別平均気温と降雨量（令和3年中）・・・・・・・・・・ 3

人口

- 人口と世帯数の推移・・・・・・・・・・ 4
- 外国人住民登録者数の推移等・・・・・・・・・・ 4
- 人口動態（社会動態）の年次別推移・・・・・・・・・・ 5
- 人口動態（社会動態）の月別推移（令和3年中）・・・・・・・・・・ 5
- 人口動態（自然動態）の年次別推移・・・・・・・・・・ 6
- 人口動態（自然動態）の月別推移（令和3年中）・・・・・・・・・・ 6
- 年齢別各歳人口の推移（県年齢別人口統計調査）・・・・・・・・・・ 7

事業所

- 事業所数及び従業者数の推移・・・・・・・・・・ 8
- 従業者規模別事業所数・・・・・・・・・・ 8
- 産業大分類別事業所数（平成28年6月1日現在）・・・・・・・・・・ 9
- 産業大分類別従業者数規模別事業所数（市内シェア上位5分類）・・ 9

工業

- 従業者規模別事業所数の推移・・・・・・・・・・ 10
- 従業者規模別従業者数の推移・・・・・・・・・・ 10

商業・観光・金融

- 観光客数及び消費額・・・・・・・・・・ 11

農林業

- 地区別農業経営体数・・・・・・・・・・ 12

交通・通信

- 市内鉄道利用状況の推移(本厚木駅・愛甲石田駅)・・・・・・・・・・ 12
- 高速道路インターチェンジ利用状況の推移・・・・・・・・・・ 13

治安・災害

- 救急業務出動状況の推移・・・・・・・・・・ 14

特集 グラフで見るコロナ禍

- 商業・観光・金融（旅券申請状況）・・・・・・・・・・ 15
- 交通・通信（市内タクシー・市内路線バス輸送状況）・・・・・・・・・・ 16
- 教育・文化・宗教（公民館利用状況）・・・・・・・・・・ 17

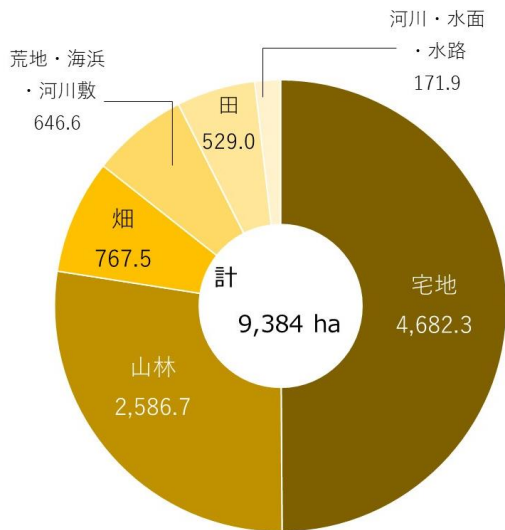
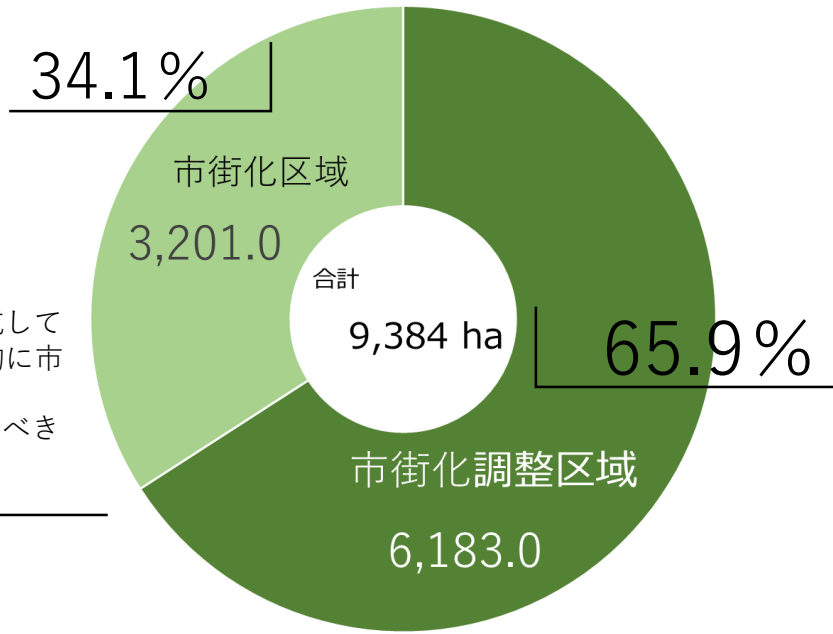
1 行政区画・土地・気象

■都市計画区域の割合及び地目別土地利用状況(5)

都市計画区域

市街化区域とは、すでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的に市街化を進めるべき区域を指します。

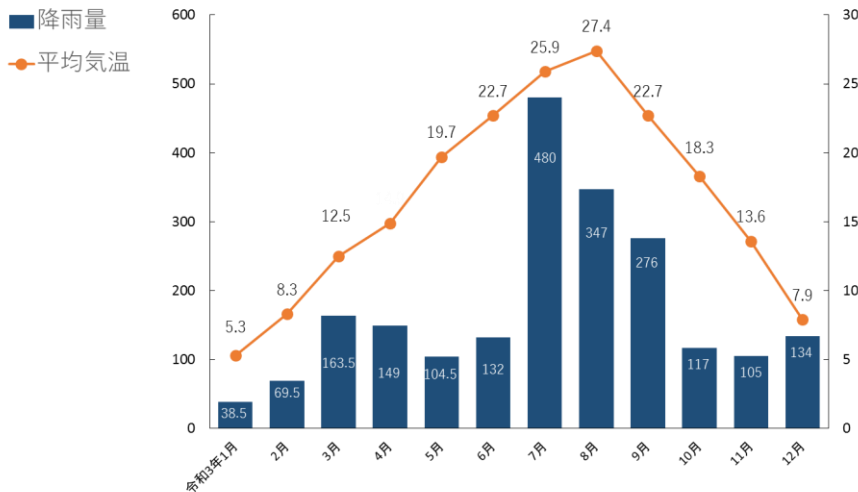
市街化調整区域とは、市街化を抑制すべき区域を指します。



地目別土地利用状況

市全体の面積に対して**宅地が約5割**を占めています。

■月別平均気温と降雨量(令和3年中)(8)



最高気温を記録したのは、8月10日の36.4°Cで、最低気温を記録したのは、1月10日の-3.6°C

令和3年7月、停滞する梅雨前線の影響で、記録的な降雨量となりました。

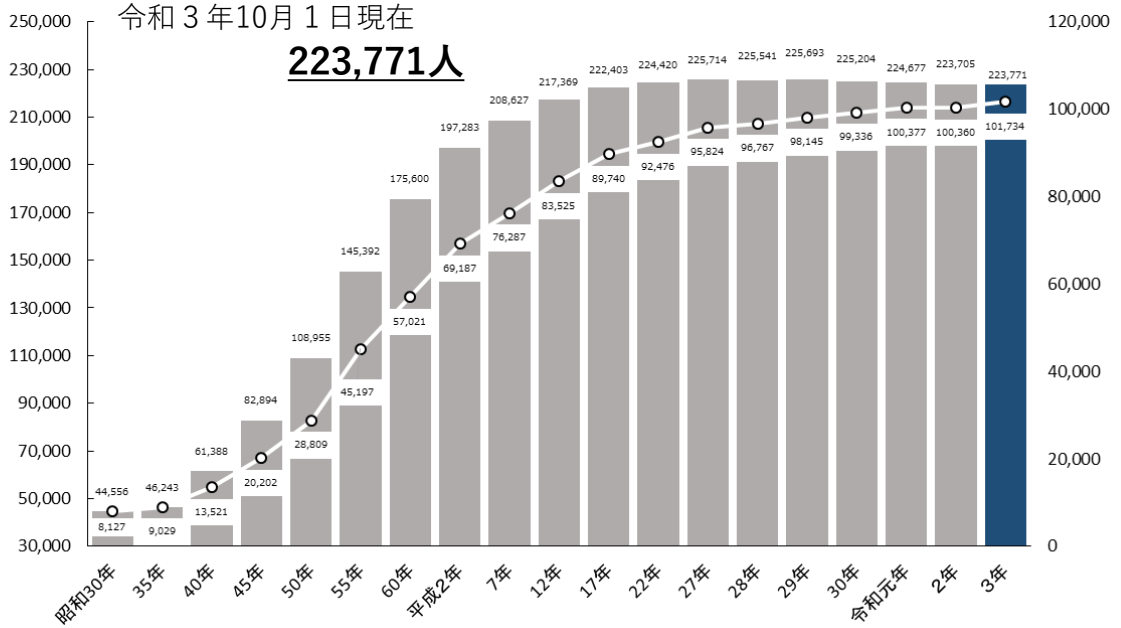
2 人口

■人口と世帯数の推移(9)

昭和30年～令和3年

■ 人口（総数）

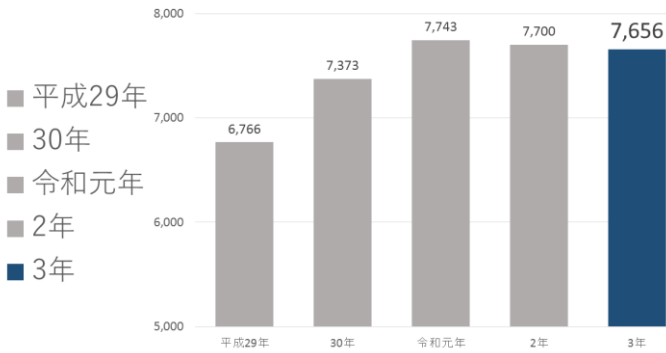
○ 世帯数



平成30年から人口が減少傾向に

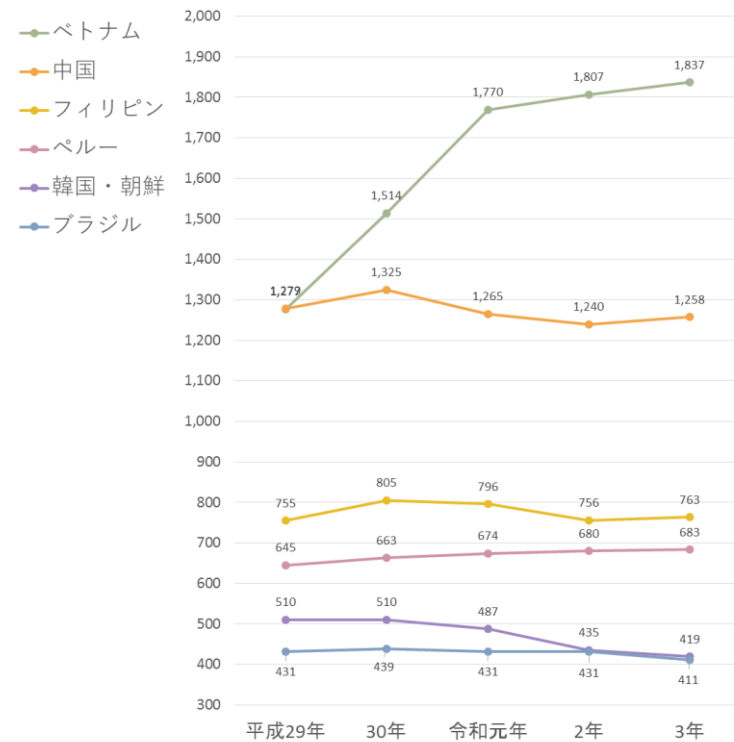
■外国人住民登録者数の推移等(11)

外国人住民登録者数の年次推移

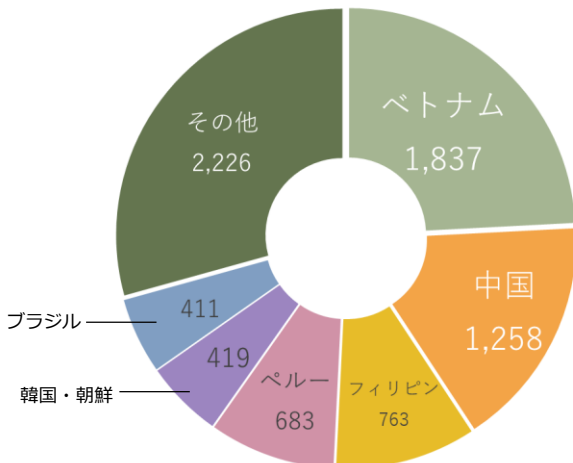


令和2年に減少に転じ、
令和3年も引き続き減少。

外国人住民登録者数国籍別の推移



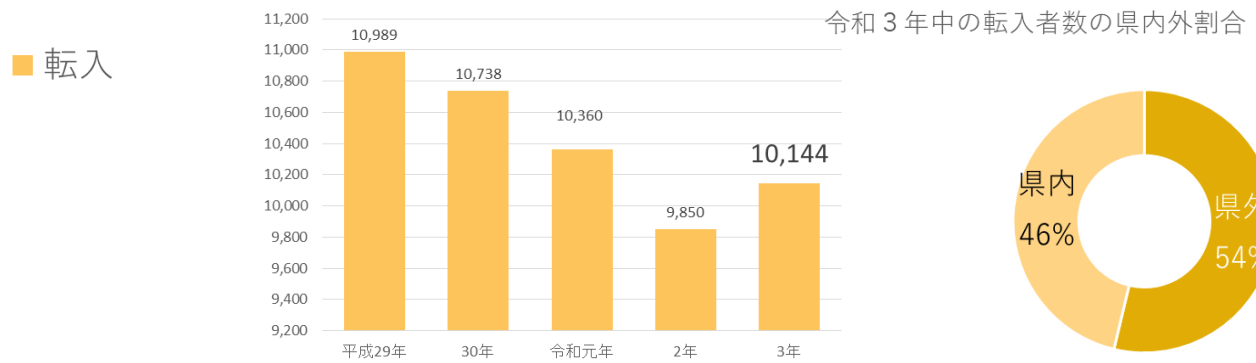
令和3年外国人住民登録者国籍別の割合



外国人の中でも、ベトナム人が顕著に増加しています。

■人口動態(社会動態)の年次別推移(17)

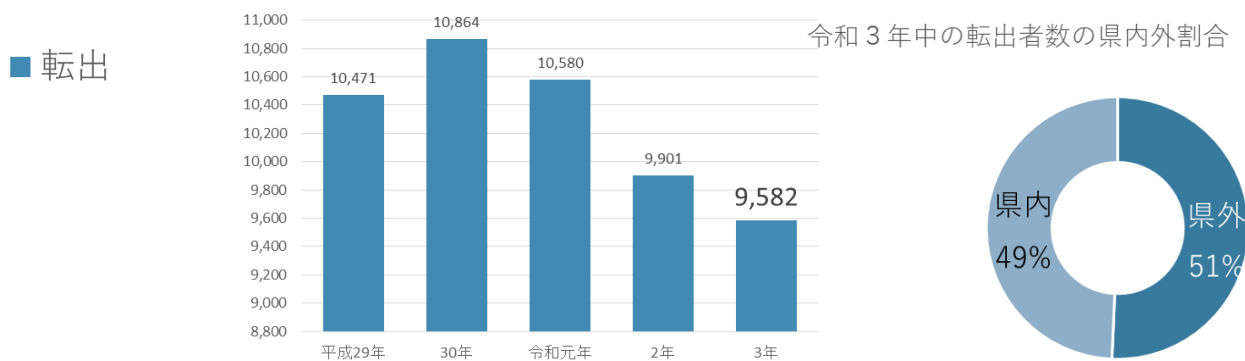
転入者数の推移



転入者が転出者を上回る**転入超過**となりました。

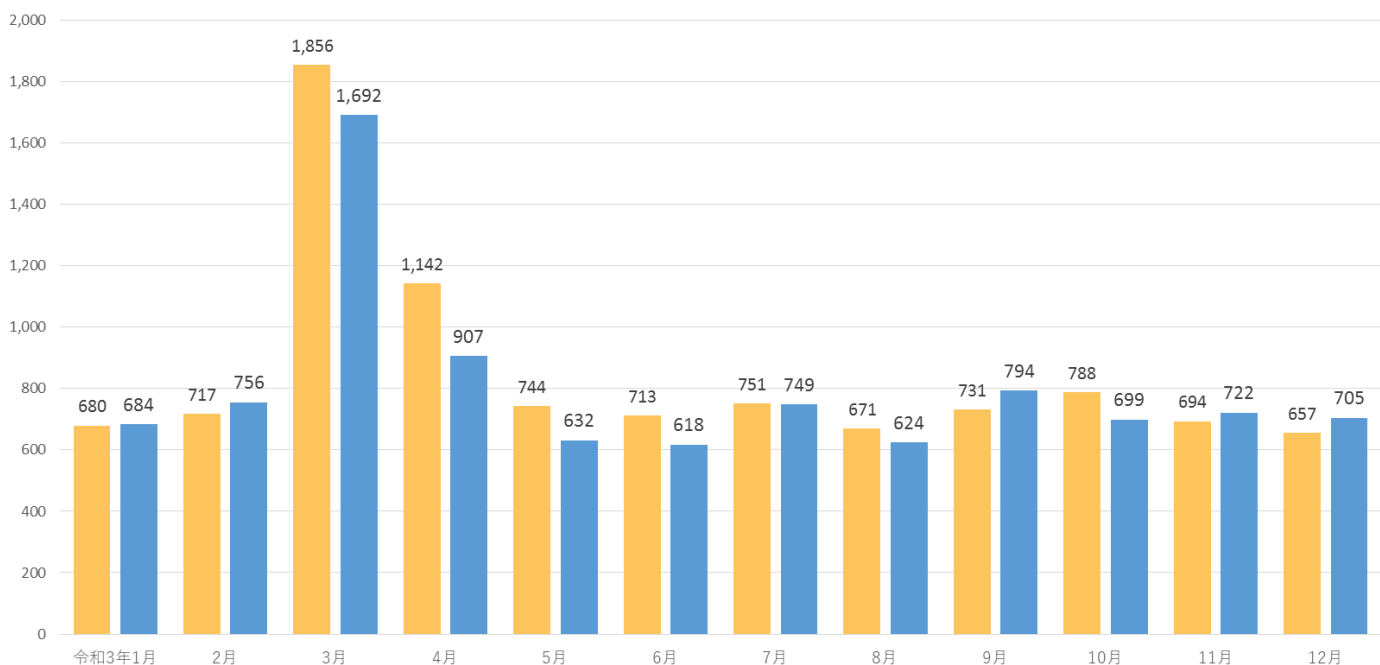
転入者数 - 転出者数 = **プラス562人**

転出者数の推移



■人口動態(社会動態)の月別推移(令和3年中)(17)

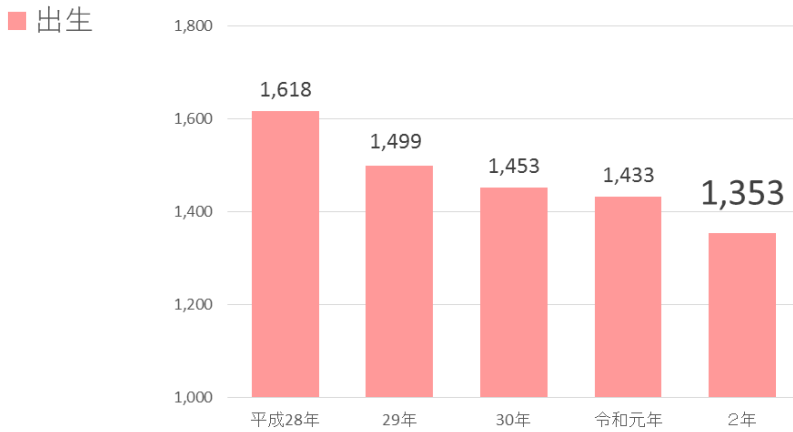
人口動態(社会動態)の月別推移(令和3年中) ■ 転入 ■ 転出



一番異動数が多い3月を除いても、毎月平均1,471人の人口異動があります。

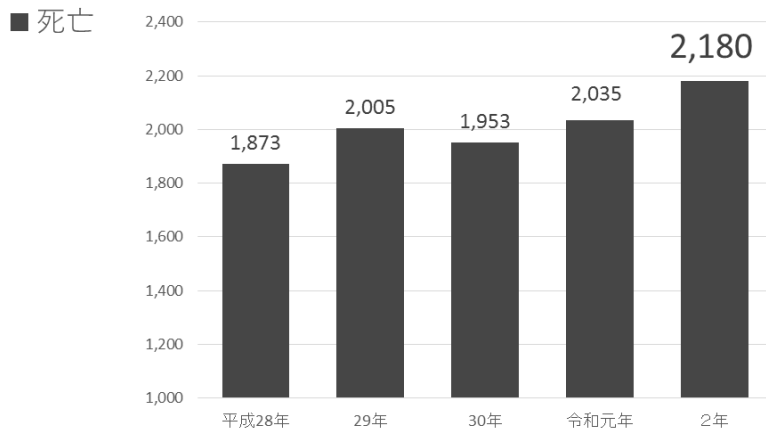
■人口動態(自然動態)の年次別推移(17)

出生者数の推移



出生者数より死亡者数が上回る**死亡超過**となっています。

死亡者数の推移

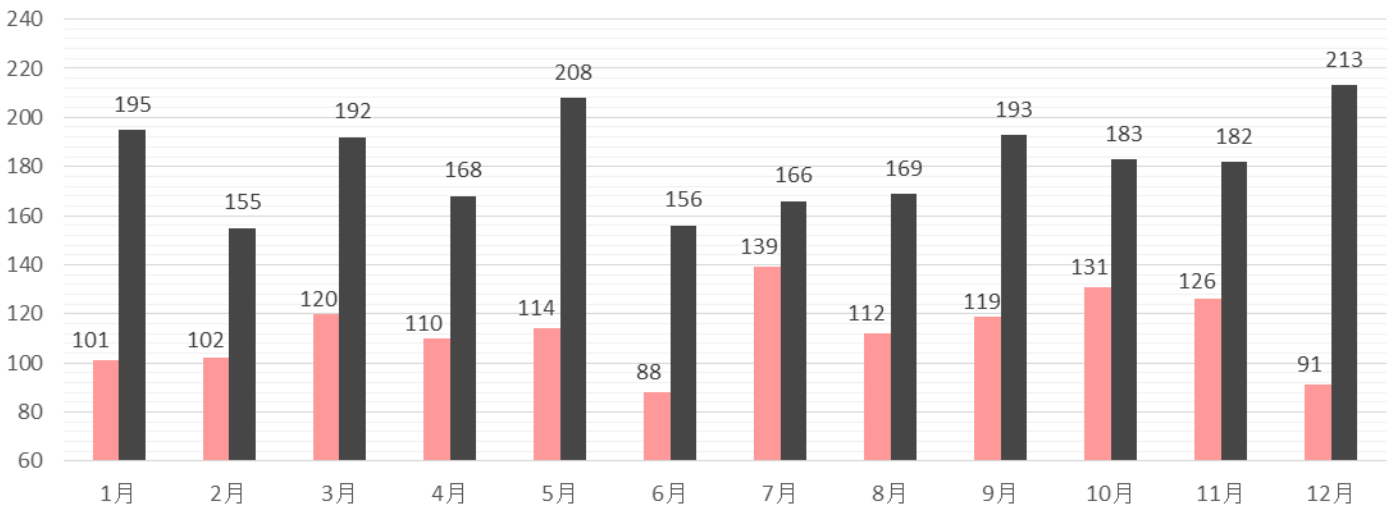


出生者数 - 死亡者数 = マイナス827人

■人口動態(自然動態)の月別推移(令和3年中)(17)

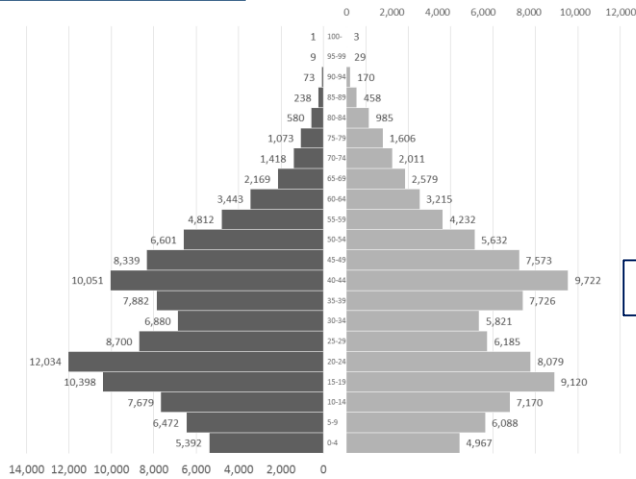
人口動態(自然動態)の月別推移(令和3年中) ■出生 ■死亡

(単位 件)

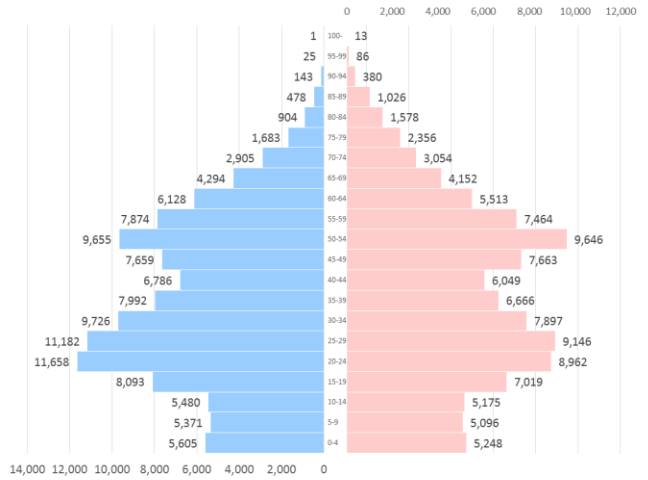


■年齢別各歳別人口の推移(県年齢別人口統計調査)(19)

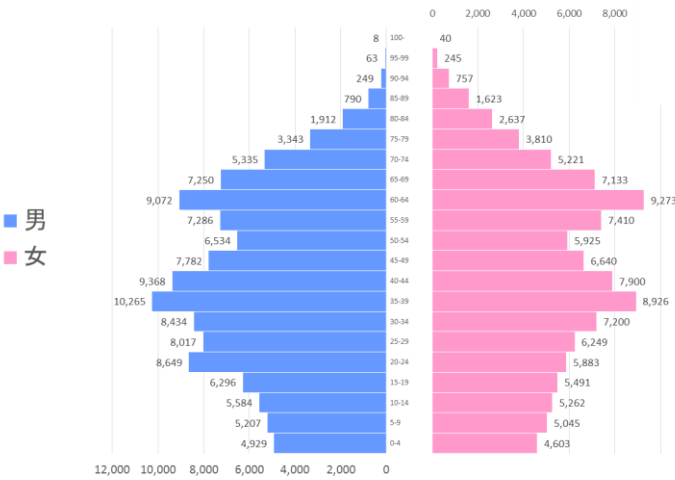
平成3年1月1日現在



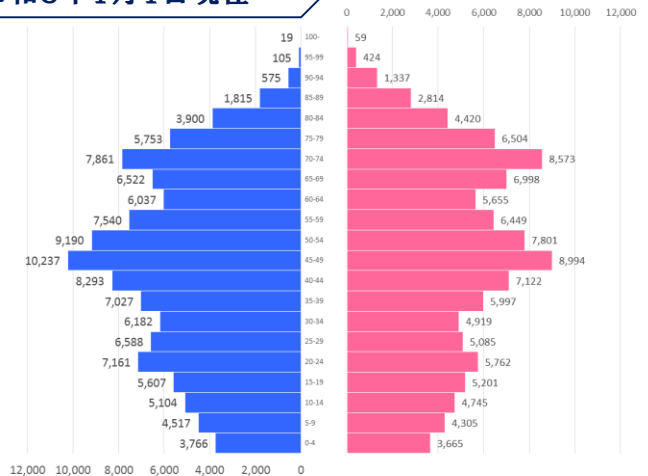
平成13年1月1日現在



平成23年1月1日現在



令和3年1月1日現在

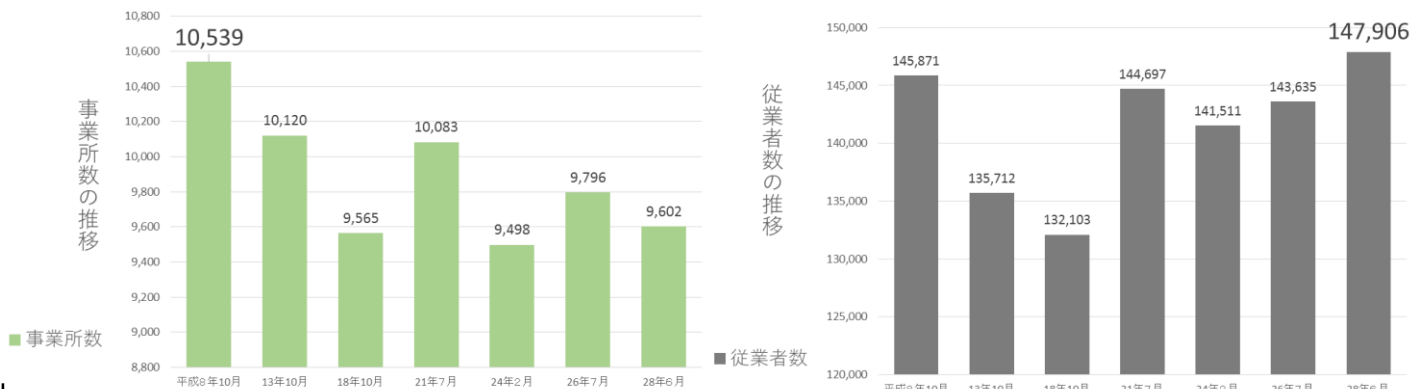


各年最も高い割合を占めている年代は、20年前の平成13年では20-24歳、令和3年では45-49歳です。

グラフの形状がピラミッド型からつぼ型に変化していることがわかります。

3 事業所

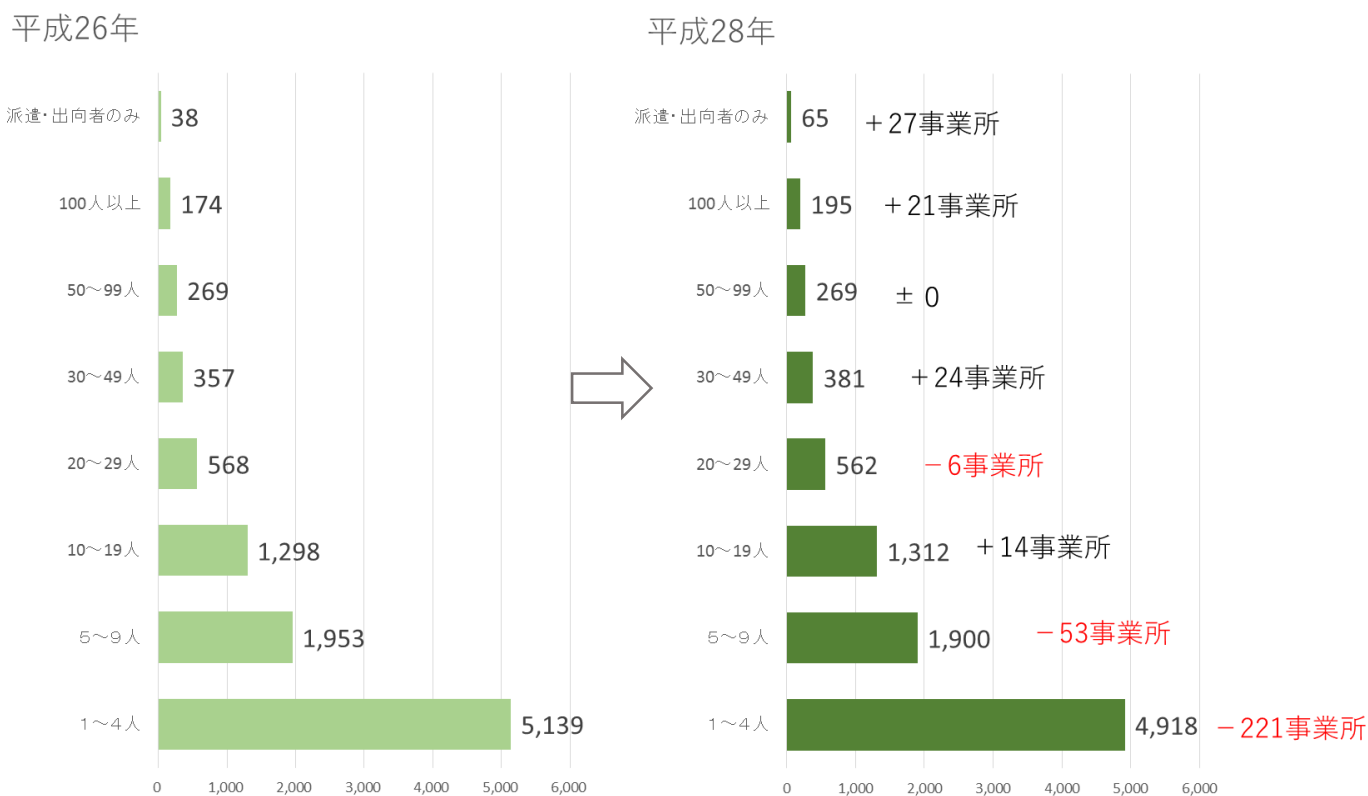
■事業所数及び従業者数の推移(29)



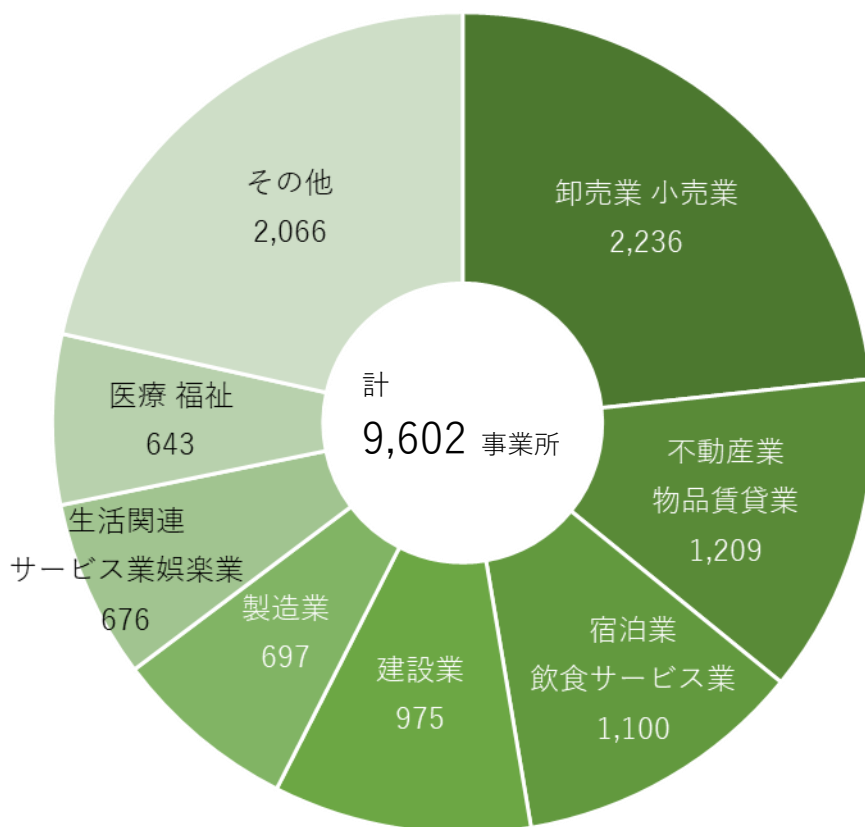
平成26年から事業所数が減少している一方で、従業者数が増加しています。

下記グラフも併せて見ると、**従業者規模の大きい事業所**が増加していることがわかります。

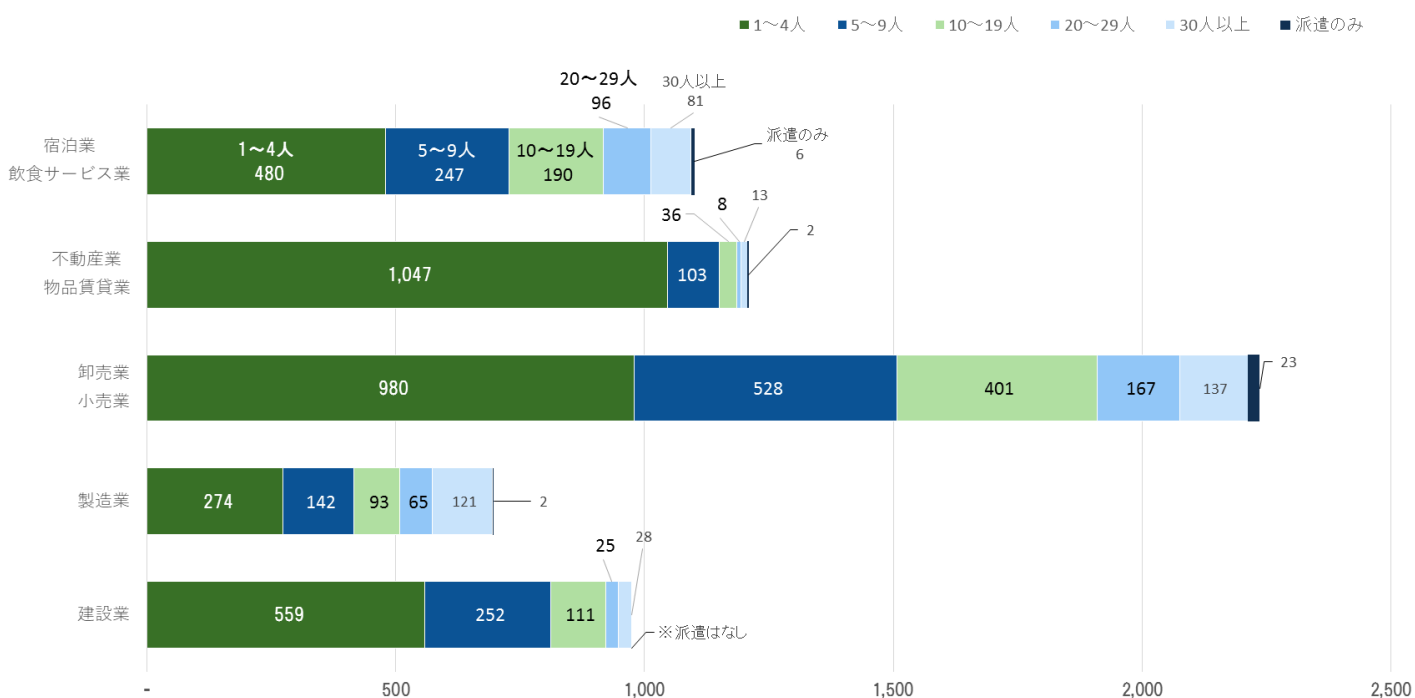
■従業者規模別事業所数(32)



■産業大分類別事業所数(平成28年6月1日現在)(31)

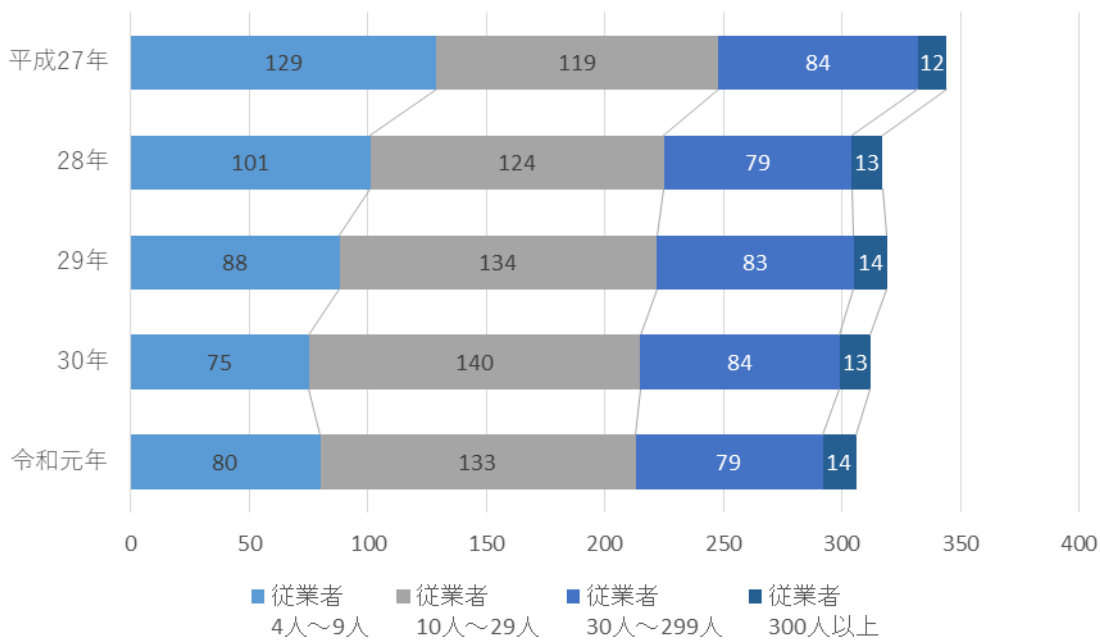


■産業大分類別従業者数規模別事業所数(市内シェア上位5分類)(32)

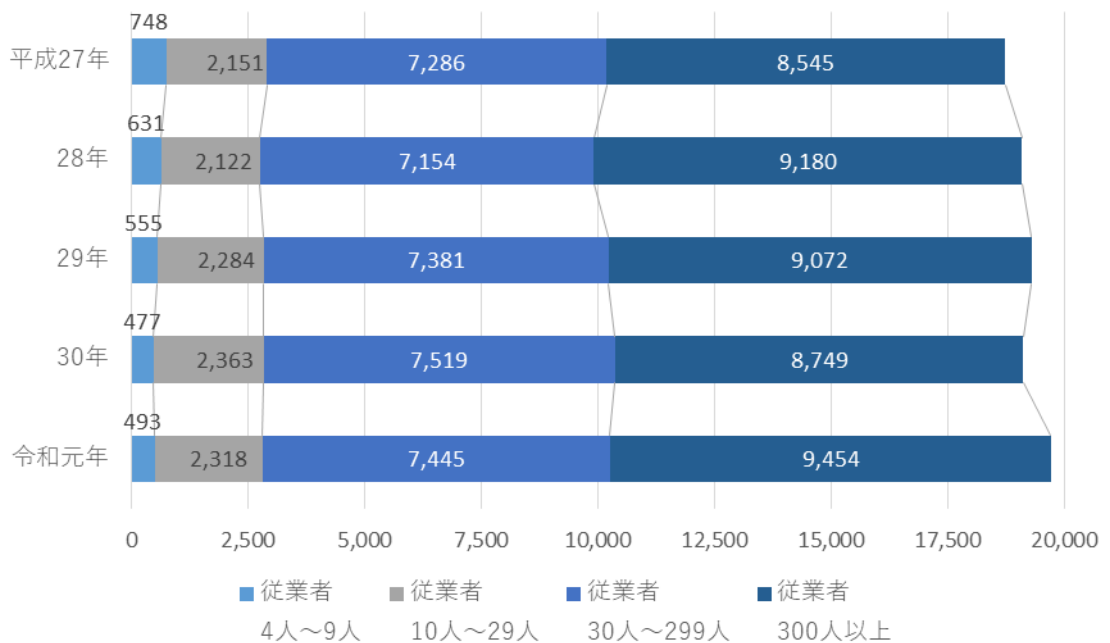


4 工業

■従業者規模別事業所数の推移(35)



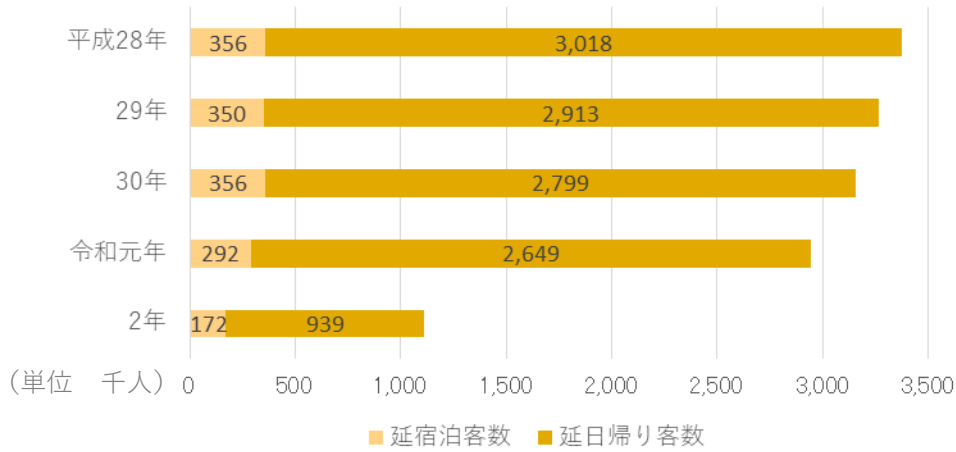
■従業者規模別従業者数の推移(36)



事業所数については減少傾向が見られる一方、従業者数は増加しています。

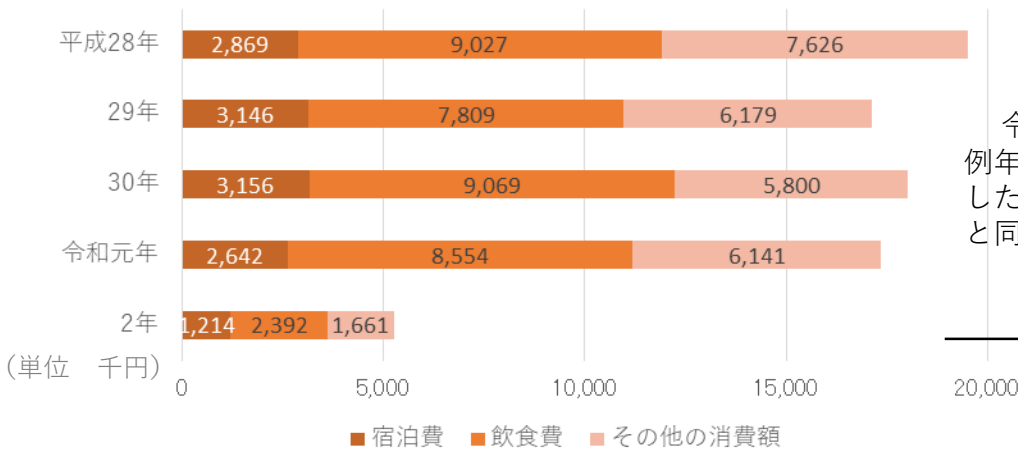
■観光客数及び消費額(53)

観光客数の推移



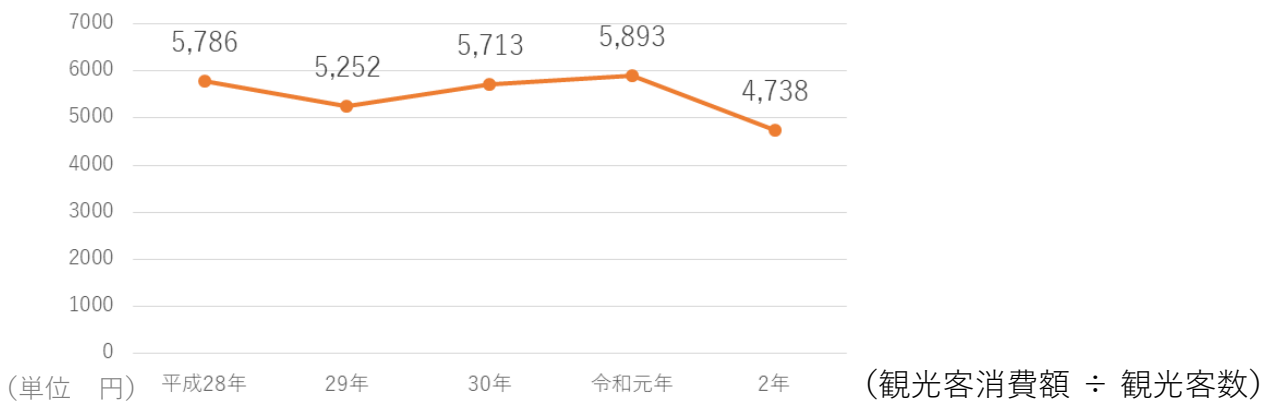
令和2年の観光客数は、大きく減少しました。
そのうち、日帰り客の減少が大きく影響しています。

観光客消費額の推移



令和2年の年間消費額は、
例年に比べ大きく落ち込みま
ましたが、項目別の割合は例年
と同じ傾向が見られます。

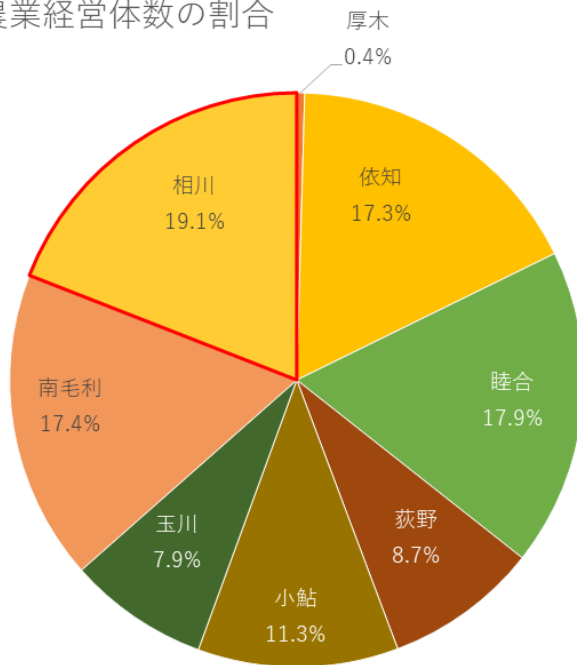
1人当たりの消費額



6 農林業

■地区別農業経営体数(61)

地区別農業経営体数の割合



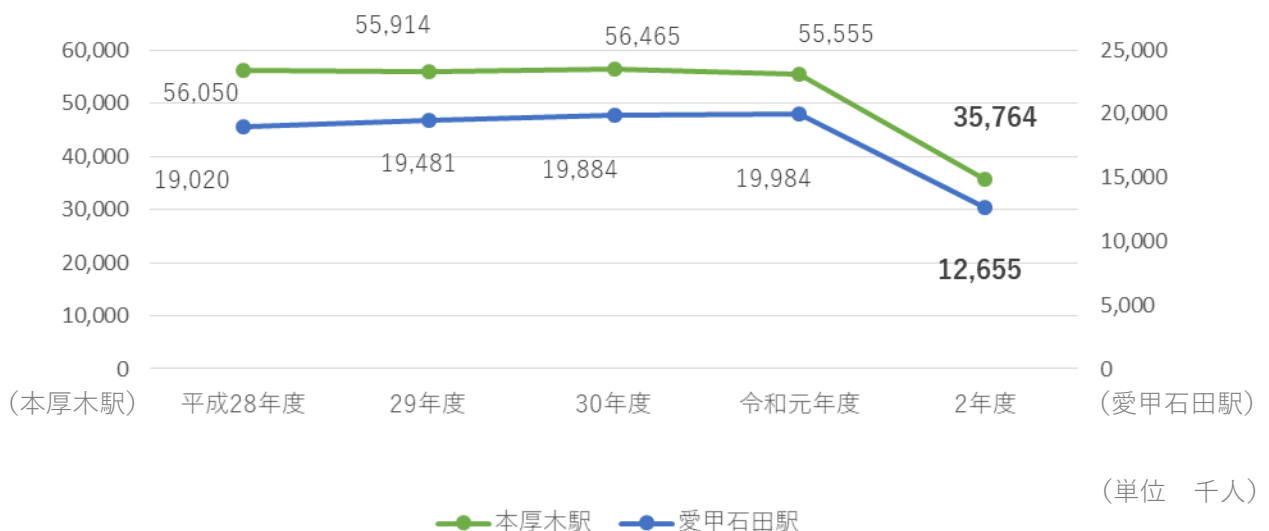
市内で農業経営体数が
最も多いのは相川地区です。

農業経営体：経営耕地面積が30a以上
事業の規模が各基準以上又は農作業の受託の事業を行う者

8 交通・通信

■市内鉄道利用状況の推移(本厚木駅・愛甲石田駅)(78)

各駅乗降者数の推移

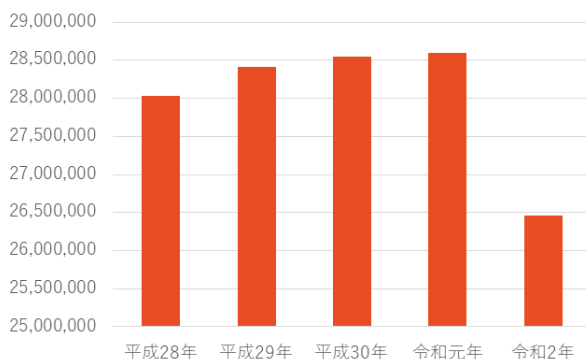


令和2年の乗降者数は、各駅ともに**大きく減少**しました。

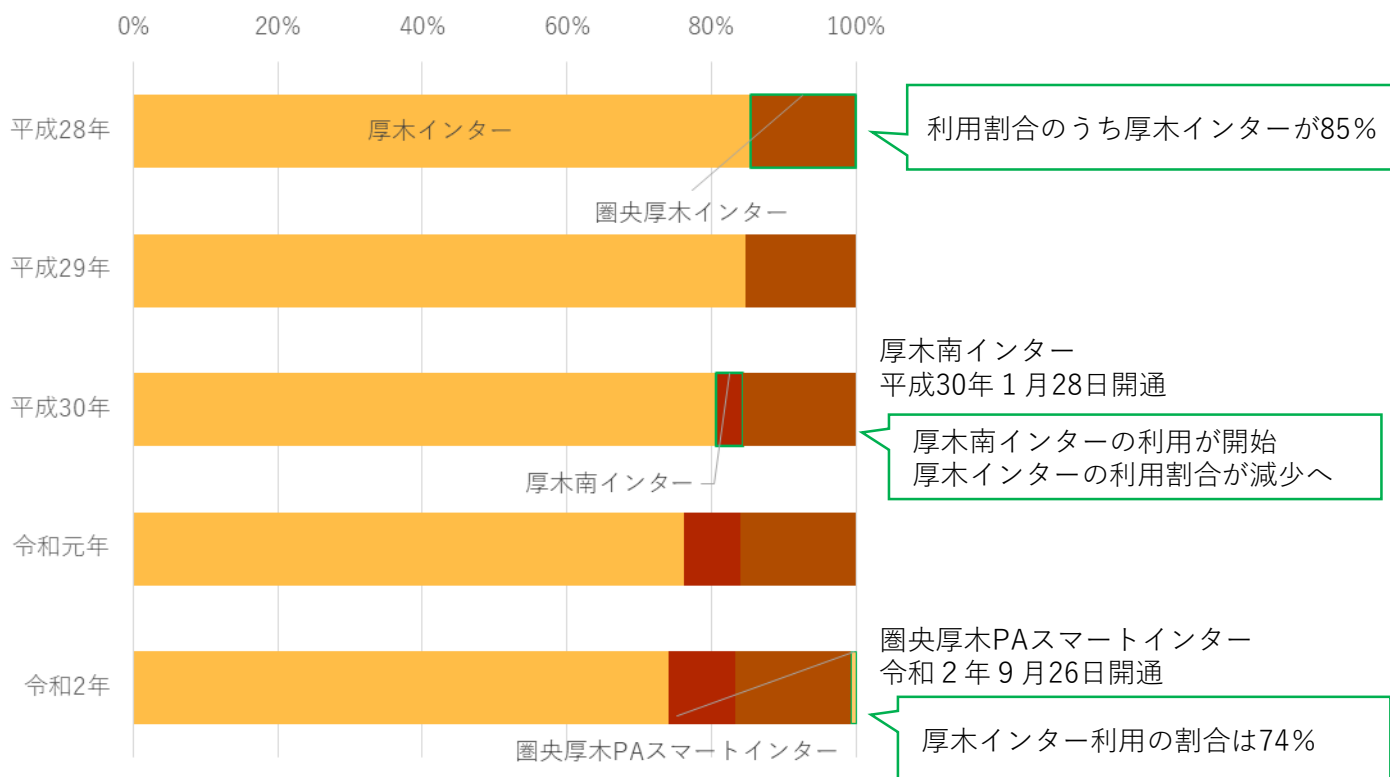
■高速道路インターチェンジ利用状況の推移(85)

近年増加傾向にあったインターチェンジ利用台数ですが、令和2年は大きく減少しました。

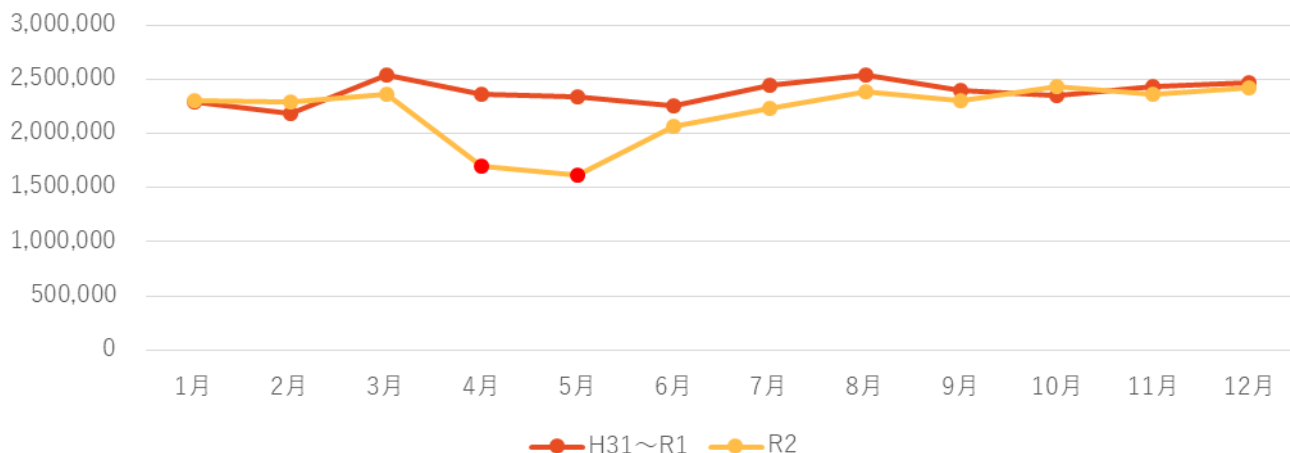
年別利用状況



インター別利用割合推移



高速道路インターチェンジ月別利用状況



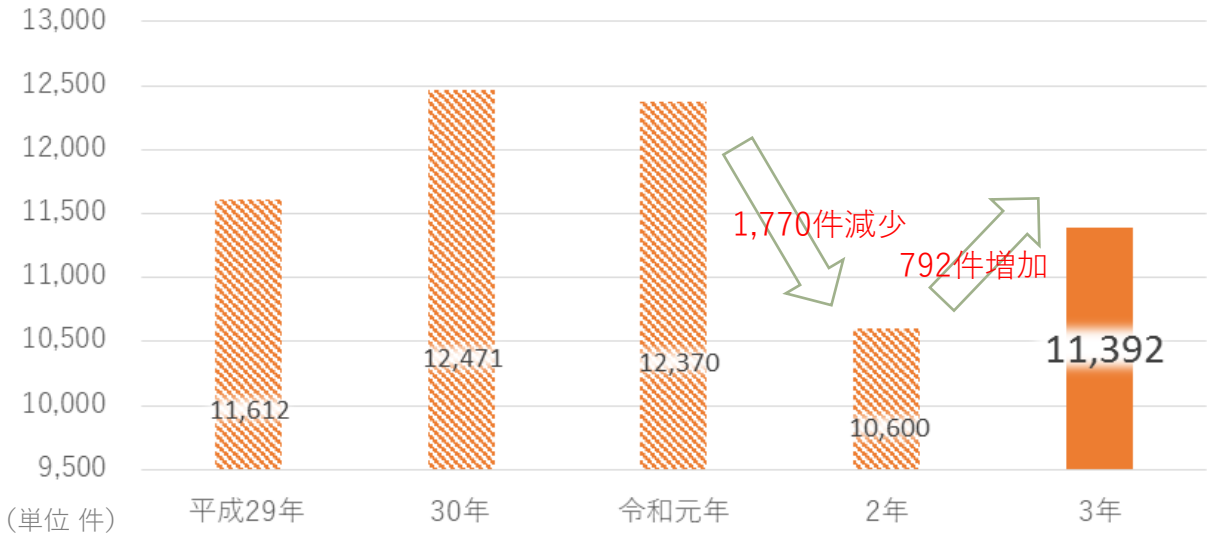
令和2年 **4・5月の利用が前年と比べ大きく減少**

(緊急事態宣言 4/7~5/25)

しかし、6月以降は徐々に回復し、前年とほぼ同様の動き。

■救急業務出動状況の推移(223)

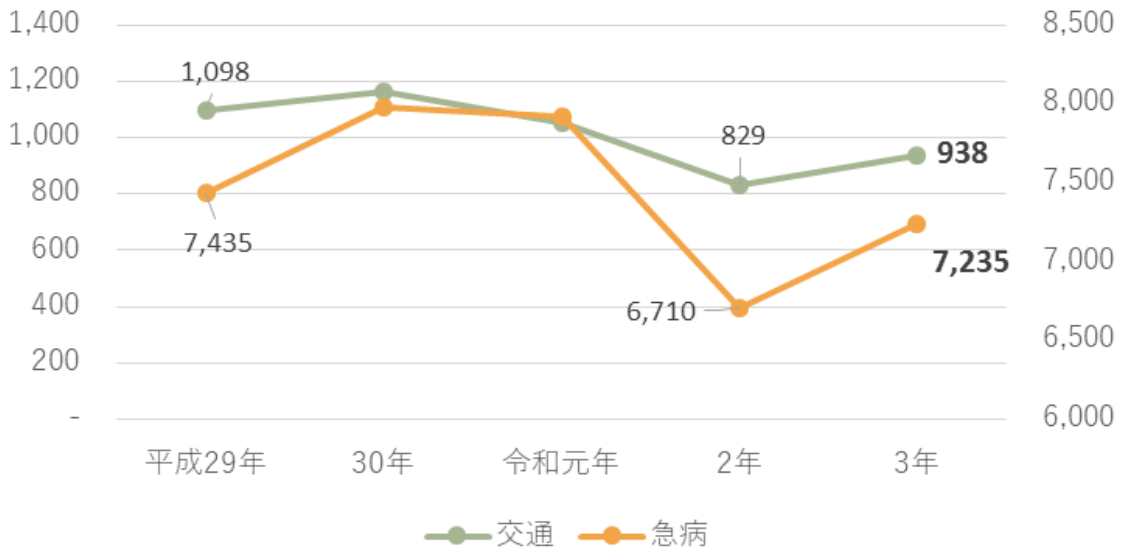
救急業務出動件数



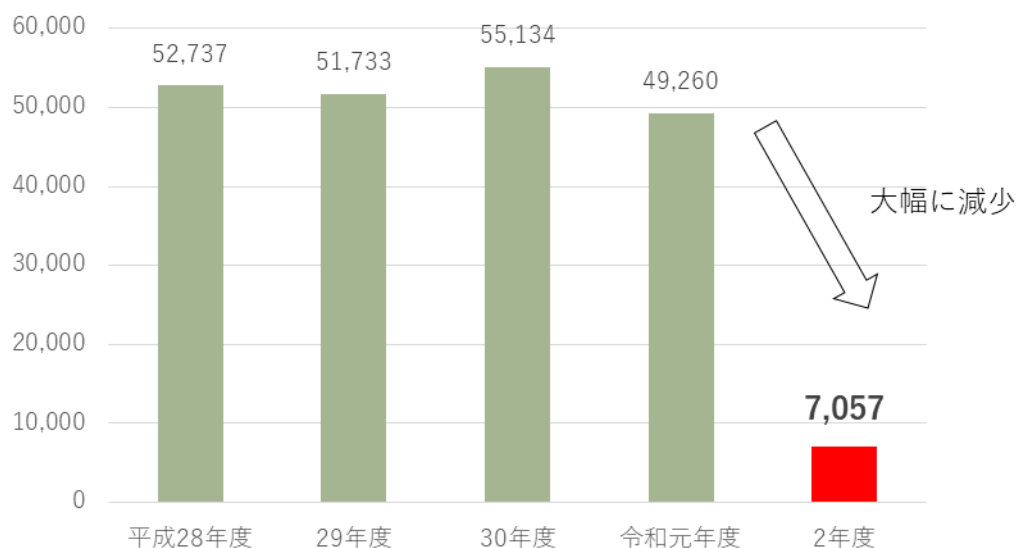
令和3年の出動件数は、令和2年と比較すると増加しましたが、平成30年・令和元年と比較すると減少しています。

令和3年の事故別出動件数は、令和2年と比較すると交通・急病ともに増加しました。

事故別救急業務出動状況

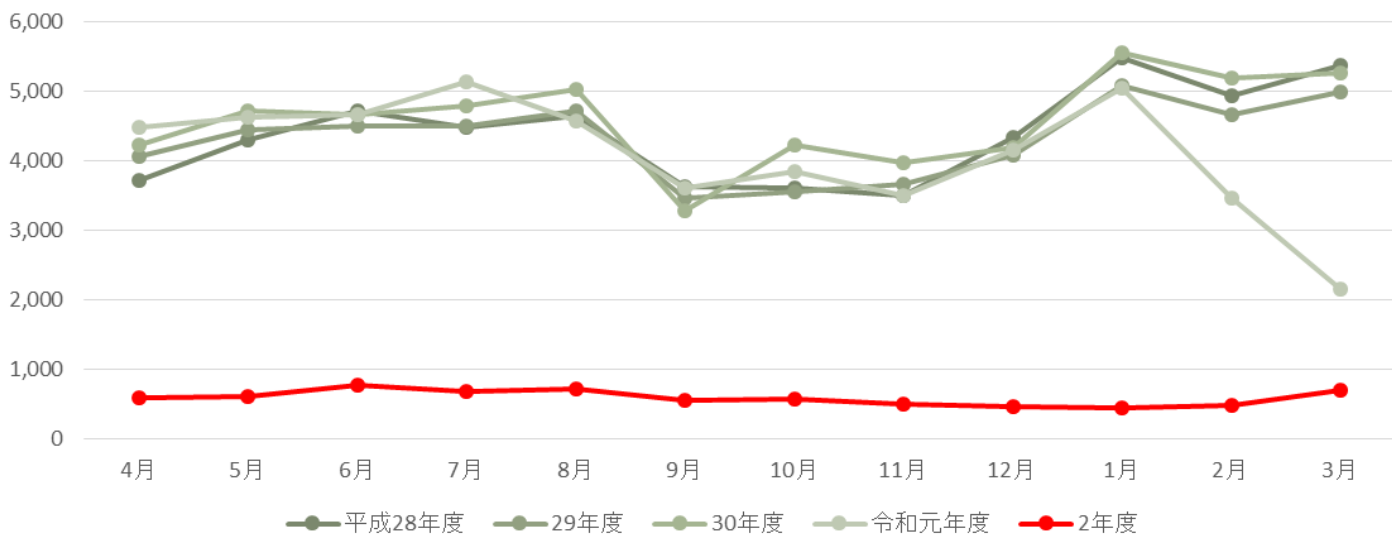


■旅券申請状況(52)



令和2年度の申請件数は、**前年比 14.33%**

新型コロナウイルス感染症感染防止による渡航制限の影響が考えられます。

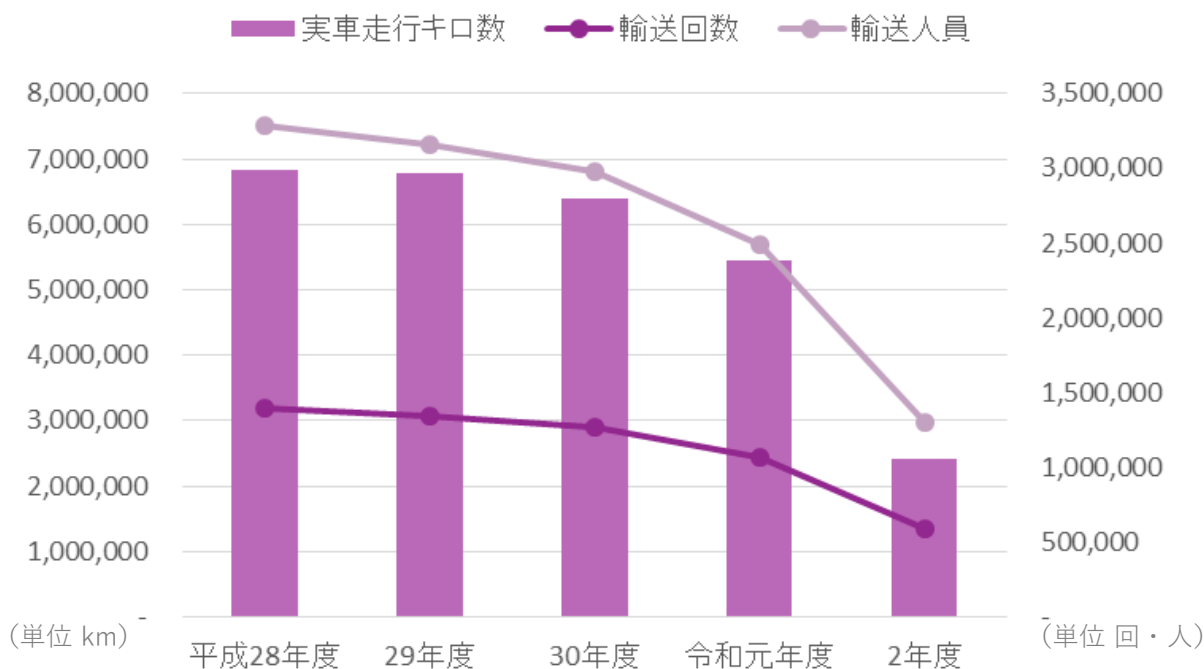


例年、最も申請が多い月は **1月** (令和元年・2年を除く)

申請が大きく減少したのは **令和2年2月**

当時、WHOによる緊急事態の宣言や、クルーズ船での感染発生などがありました。

■市内タクシー輸送状況(79)

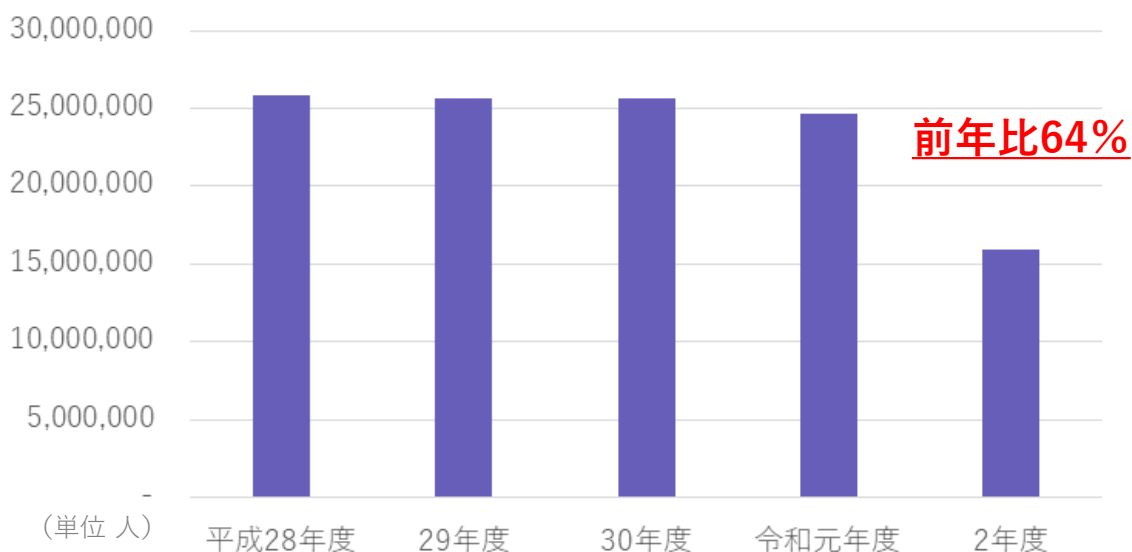


3項目とも、令和元年度のおよそ5割に減少

1人当たりの走行キロ数は例年と同じ傾向

■市内路線バス輸送状況(80)

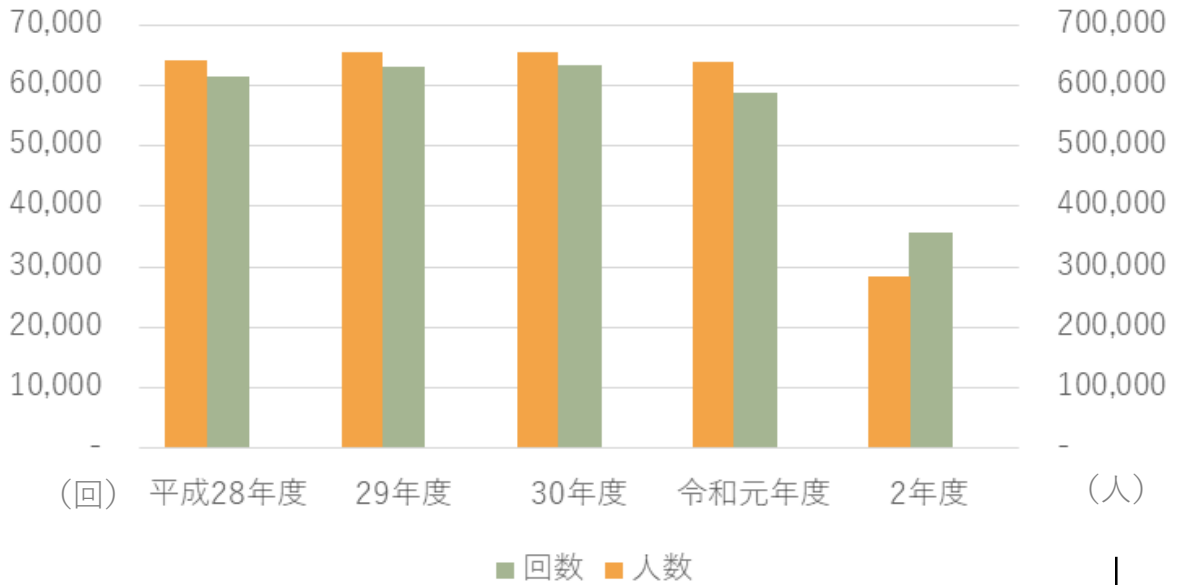
年間輸送人員



年間輸送人員は、近年ゆるやかに減少傾向にありましたが、令和2年度は大きく減少しました。

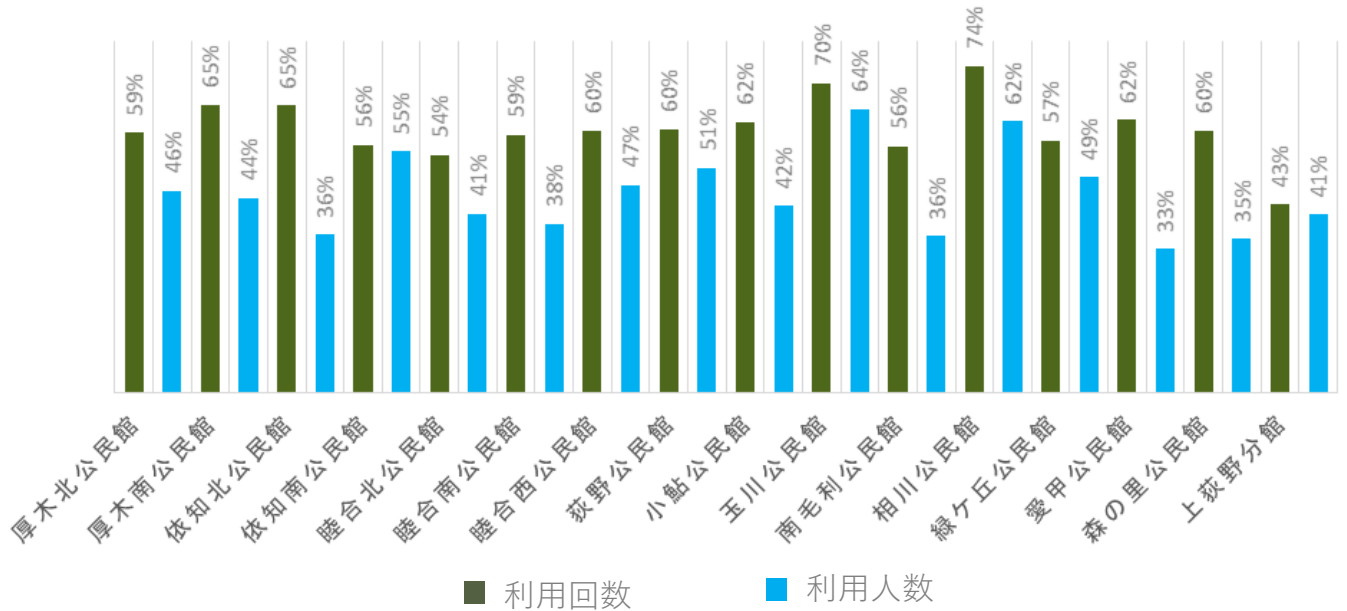
■公民館利用状況(156)

公民館利用状況



一時的に貸館業務を停止したこともあり、**例年に比べ大きく減少**
 (休館日程：4/1～5/27、1/12～3/21)

令和元年度を100%としたときの令和2年度の利用率



一回あたりの利用人数は平均10人から7人に減少

利用回数の前年比は平均60%、利用人数の前年比は平均45%でした。

グラフで見る統計あつぎ

—令和3年版—

令和4年4月 発行

令和4年4月 編集

発 行 厚 木 市
編 集 厚 木 市 政 策 部 行 政 経 営 課
厚 木 市 中 町 3 丁 目 1 7 番 1 7 号
電 話 (046) 225-2180 (直通)
F A X (046) 225-3732
